

科目名 (英)	Creative Hairmake	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷・今井・久保・堤・秋本・鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
身につけた技術・センスを基にオリジナル作品を制作する							
<p>【講師経歴】</p> <p>桐谷:美容サロンで5年以上勤務し、TV、雑誌のヘアメイクを経験後 渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションメイクを経験し、帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。</p> <p>今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。</p> <p>久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年)</p> <p>堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。</p> <p>秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p> <p>鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)</p>							
【授業を通じての到達目標】							
より多くのギャラリーに作品を見られる経験をすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	<p>【授業単元】 振り返り</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期実施した内容を振り返り、自己の課題を明確にする</li> <li>・課題に基づき相モデルにてヘアアレンジ・メイクを実施する</li> <li>・発表本番を想定し、シュミレーションを実施する</li> </ul>						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	<p>【授業単元】 作品発表制作</p> <p>【到達目標】 課題に基づき求めるヘアアレンジとメイクが実践できる</p>						
10							
11							
12							
13							
14							
15	<p>【授業単元】 作品発表</p>						
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返りシートおよび指導評価により、100点満点にて評価する</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	特別講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
業界で活躍する本校卒業生の講話を受け、業界での業務内容や労働環境を理解する							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後の目標を明確にし、専門分野でのデビューがスムーズになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 オリエンテーション						
2	【到達目標】 特別講座についての説明 事前準備						
3	【授業単元】 業界で活躍中の卒業生の講演						
4	【到達目標】 専門分野の詳しい業務内容や労働環境などを知ることができる						
5							
6	【授業単元】 卒業後の目標を立てる						
7	【到達目標】 卒業後の目標を明確し、デビューがスムーズになるようプロとしての心構えを持つことができる						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	通年
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期全体の学習イメージをつけることができる 卒業後のイメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
スケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認  【到達目標】 スケジュールが理解できるようになる 卒業後の一般常識を理解できるようになる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について  【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる  【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	Technical Hairmake elements I (Technical Hairmake elements I)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	桐谷/川上
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>桐谷)美容サロンで5年以上勤務し、TV、雑誌のヘアメイクを経験後 渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションメイクを経験し、帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。</p> <p>川上)富沢ノボル氏のヘアメイクアシスタントとして所属。映像、スチール系のヘアメイクを中心に活動。現在は講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。</p> <p>ヘアアレンジ基礎技術の習得 応用の習得 作品撮りやコンテストに向けての創作ヘアメイクの技術を学ぶ</p> <p>上記の講師が応用、舞台映えるヘアの知識、技術について授業を展開し、卒業制作発表会の監修、レクチャー、サポートを行う</p>							
【授業を通じての到達目標】							
幅広い応用技術を身につけ、2年間培ってきた知識技術や、デザイン力、センス、コミュニケーション能力を卒業制作発表会にて発揮する							
				【授業外における学習】			
teamsコマシラバスに記載							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ヘア応用技術の習得						
2	ヘア応用技術の習得					10	
3	ヘア応用技術の習得						
4	中間テスト 授業内容の理解、習得度の確認 卒業制作発表会 導入					20	
5	卒業制作発表会に向けて 技術の習得						
6	卒業制作発表会に向けて 技術の習得						
7	卒業制作発表会に向けて 技術の習得					10	
8	卒業制作発表会に向けて グループワーク						
9	卒業制作発表会に向けて グループワーク						
10	卒業制作発表会に向けて グループワーク						
11	卒業制作発表会に向けて グループワーク						
12	卒業制作発表会に向けて 冬休み中に進行すべき作業の確認						
13	卒業制作発表会に向けて 冬休み前最終日						
14	卒業制作発表会にむけて ヘアメイク 当日通りの動きを確認						
15	定期テスト 卒業制作発表会直前 リハーサル前日					60	
【特記事項】卒業制作発表会に向けての授業はチームワークが大切です。現場のアシスタントや、就職先の研修等も増え、授業参加が難しいスケジュールも発生すると思いますが、欠席するにあたり、報告、連絡、相談は必須です。しっかり役割に責任を持ち、チームメイト、講師陣に自発的コミュニケーションをとってください。(1回目持ち物:ウィッグ、クランプを含むヘア道具一式) 2年後期の定期テストについては卒制対応の全ての授業にて(テクニカルABC)イレギュラーな配点、減点を行う可能性があります。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道IV (Professional seminarIV)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
				曜日・時間	1組→金曜3限 2組→金曜2限 3組→水曜3限 4組→水曜2限		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようにする ※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気付き、相手に的確に伝えることが出来るようになる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	後期スケジュール確認・卒業前目標決め						
2	社会人基礎ノート①(第一印象と色の知識)						
3	社会人基礎ノート② 敬語の復習 (尊敬語、謙譲語、丁寧語)						
4	社会人基礎ノート③ 一般常識(ことわざ)						
5	社会人基礎ノート④《カラーについて・マナー》 色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れることが出来る						
6	社会人基礎ノート⑤《マナー》 接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することが出来る						
7	社会人基礎ノート⑥《話題・コミュニケーション》 自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることが出来る					中間テスト 20点	
8	敬語・印象・態度などのマナー 中間テスト(20点満点)						
9	ビジネスマナー①《言葉遣い①》 ・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることが出来る						
10	ビジネスマナー②《ルール・言葉遣い》 報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることが出来る					小テスト 10点	
11	《一般常識》① ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
12	《一般常識》② ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
13	《一般常識》③ ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付け、応用することができる					小テスト 10点	
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト(60点満点)					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Technical hairmake elemensⅢ		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 鈴木
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師から各テスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。								
久保/外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年)								
鈴木/外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)								
【授業を通じての到達目標】								
卒業制作を着地点に設定し、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液								
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点	
1	Practical make 応用メイク技術を習得する						5	
2	Practical make 応用メイク技術を習得する							
3	Practical make 応用メイク技術を習得する							
4	Practical make 応用メイク技術を習得する						5	
5	中間テスト 時間内にフルメイクを完成させる						20	
6	Practical make 応用メイク技術を習得する							
7	Practical make 応用メイク技術を習得する							
8	Practical make 応用メイク技術を習得する							
9	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						5	
10	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する							
11	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する							
12	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						5	
13	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する							
14	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する							
15	定期試験 時間内にフルメイクを完成させる						60	
【特記事項】 初回持ち物:メイク道具一式					【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅳ (Hairmake synthesis techniqueⅣ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	佐藤 揚一郎
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	偶数週 火曜日1-4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロン勤務経験10年以上の講師から、サロンワークや撮影現場など美容師として活躍するために必要な美容技術を学ぶ 現場の知識やルール、マナーなどの経験を積む							
<講師経歴> 佐藤:表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影は主にアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークの基本的な技術の基礎と知識を理解・習得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
サロンワーク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	スタイル提案						
	サロンスタイル撮影①						
2	アレンジ					小テスト20点	
	サロンスタイル撮影②						
3	クリエイティブヘアテクニック						
	スタイル別による撮影知識						
4	デザインをイメージしてデッサンを書き起こす						
	ベースカット						
5	ブリーチ①					中間テスト20点	
	ブリーチ②						
6	作品作りで制作を学ぶ(オンカラーで色を選定する習得)						
	作品作りで制作を学ぶ(オンカラーで色を選定する習得)						
7	作品作りで制作を学ぶ(スタイリングでイメージの表現を習得)						
	作品作りで制作を学ぶ(メイクや装飾を施しフィニッシュワークを習得)						
8	作品発表と撮影					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Technical Hairmake elements II (B)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤、秋本
	Technical Hairmake elements II (B)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科			曜日・時間	水曜日 (1,2組) 金曜日 (3,4組)		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。 秋本:外資系化粧品ブランドで勤務(4年)その後フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、プライダルフォト、プライベートサロンとして活動中 各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて、前期に習得した技術のブラッシュアップをすることで、必要な技術を修得しメイク技術を上げ、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する					小テスト5点	
2	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する						
3	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する						
4	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する					小テスト5点	
5	中間テスト					中間テスト20点	
6	卒業制作導入、チーム分け(合同授業)						
7	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する						
8	クリエイティブメイクを学び、技術を習得する						
9	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					小テスト5点	
10	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
11	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
12	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					小テスト5点	
13	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
14	卒業制作に向けて完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
15	定期テスト					定期テスト60	
【特記事項】初回持ち物 ・メイク道具一式、クレンジング				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファイナンシャル研修	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識のレクチャーを受ける							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 本講座について説明						
2	【到達目標】 事前準備						
3	【授業単元】 税金・社会保険について						
4	【到達目標】 各種税金の内容について知る						
5	各種社会保険の仕組み、内容について知る						
6	【授業単元】 確定申告について						
7	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る						
8							
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて						
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			